

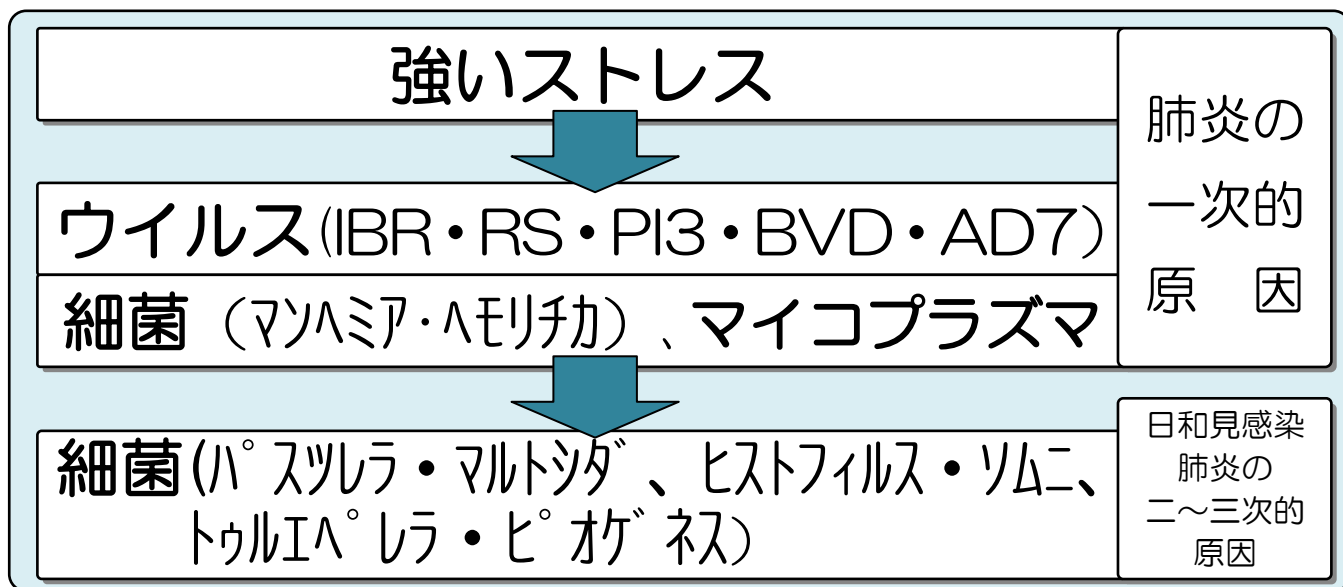
牛呼吸器病症候群(BRDC)対策は行っていますか？

中丹家畜衛生情報 (No.29-19) 平成29年10月発行

BRDCは寒暖の変化のほか、離乳や移動、群編成、過密や換気不足等の強いストレスがかかるとウイルスやマイコプラズマ、細菌などの複合感染により、肺炎症状が重篤化する呼吸器疾患です。また重篤化すると泌乳牛の乳量減少など経済的損失が非常に大きいため予防対策が重要です。



牛呼吸器病症候群の発生と進行



予防対策

人・車両対策～出入り口でウイルスを遮断しましょう～
入退場時の車両消毒の徹底！農場専用の作業靴、作業着の着用、牛舎出入時の手指の洗浄・長靴の消毒！



隔離観察とワクチン接種～予防・症状の軽減～
牛を導入した場合は、3週間以上隔離・観察してください。
(公)京都府家畜畜産物衛生指導協会は、予防・症状の軽減に有効な牛呼吸器病6種混合ワクチン接種を行っています。

府家畜畜産物衛生指導協会中丹支部(中丹家畜保健衛生所内)

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2
TEL: 0773-25-1860 (夜間・休日にも転送機能で連絡可能)